

「シリア和平の実現を目指すシリア人を交えた有識者フォーラム」開催（案）

紛争が6年目に入るシリアの混乱は迷走し、様々な意見や考えがプロパガンダと共に錯綜して非常に複雑な様相を見せています。こうした背景の下、シリア人同士は相互の立場を尊重あるいは危惧する余り、相互の交流や率直に意見を交わすことができない状況も続いており、こうした状況がシリアの紛争解決の大きな障害となっています。

また、日本のアカデミズム、外交、あるいはメディアや市民社会においても、こうした分かりにくい状況をシリア人自身の視点を通して現段階から理解しておくことは、紛争停止への取り組み及び紛争後の復興を見据えた際も極めて重要です。

そこで、日本政府には、将来のシリアを担うシリア人の有識者を2-3名招聘し、チャタムハウスルールの下、日本の有識者等を交えて将来のシリアについて語り合う場を設けることを提案します。

【具体的な活動案】

「シリア和平の実現を目指すシリア人を交えた有識者フォーラム」（仮）

1. 場所：東京大学東洋文化研究所、中東木曜フォーラムの開催場所
2. 日程：1-2日間
3. 招聘者：シリア人有識者2-3名。
招聘者は、政治的立場が偏らないような配慮の上、日本人有識者を通して、声をかける。
(例) - ダマスカス大学付属のシリア政治研究世論センター
- SOCPs (Syrian Opinion Center for Political Studies) や独立系のNGO シリア政策研究センター (SCPR) の専門家など。
4. プログラム：
 - シリア人有識者からの基調講演と中東木曜フォーラム等を含めた日本人のシリア関係者等の意見交換。
 - 日本の文化や自然等サイトを共に訪れ、交友を深める。
 - チャタムハウスルールの下非公開のイベントとする。
5. 成果
この機会をきっかけに、普段交流の機会の無いシリア人有識者同士が直接話をする機会が提供され、将来のシリアのヴィジョンを共有することが期待される。また日本の有識者、外交官、メディア、NGO 等関係者においても、シリア人有識者との交流を通して紛争停止や復興への関わり方への一助となることが期待される。